報道関係者各位

京都文化博物館　総合展示のご案内

令和 8 年 9 月 29 日
京都府京都文化博物館

京都文化博物館では、２階総合展示室にて「田能村直入と近代京都の南画－自然のアンビエンス」を開催いたします。近代京都における南画の豊かな世界をご紹介します。

■田能村直入と近代京都の南画－自然のアンビエンス

明治 29（1896）年 12 月、京都において日本南画協会の設立趣旨が公表され、田能村直入や富岡鉄斎をはじめ、京都を代表する南画家 25 名により、翌年正式に同協会が結成されました。協会は大会の開催や機関誌の刊行を通じて南画の普及に努め、やがて会員数は三千名を超え、全国へと広がる大きな組織へ発展していきました。



田能村直入《春日閑居》（田能村直入旧蔵画帖より）
明治 18（1885）年　京都府蔵（京都文化博物館管理）

南画は、中国文化への憧れを背景に、江戸時代以降の日本で育まれた絵画のひとつです。山水や花鳥を主題とし、画家の心象を描く「写意」の精神を基調としています。俗世から距離を置き、自然の気配に身をゆだねるようにして描かれた作品には、「アンビエンス（空間の響き）」ともいうべき広がりが認められ、自然への深いまなざしが南画の精神性として一貫しています。幕末から明治期の京都の美術界は「一時南宗画（南画）に拠つて代表されていた」とも言われ、「写生」を重んじる円山四条派の展開と並び立つ、もうひとつの「近代京都日本画史」を形づくりました。

令和 8（2026）・令和 9（2027）年には、日本南画協会の設立趣旨発表および結成から 130 年、さらに協会を牽引した田能村直入（1814～1907）の没後 120 年を迎えます。本展では、京都府コレクションを中心に、直入の作品をはじめ、日本南画協会において重要な役割を果たした画家たちの作品や資料を紹介し、近代京都において展開した南画の豊かな世界をご覧いただきます。

・会　期：令和 8 年 10 月 3 日（土）～11 月 29 日（日）
・会　場：京都文化博物館 ２階総合展示室
・主　催：京都府、京都文化博物館
・助　成：芸術文化振興基金

＊イベント詳細は HP をご覧ください。

【関連イベント】
10 月 14 日（水）トーク＆ライブ「Deep Looking×Ambient Cosmology-気配を視て、奥行きを聴く-」
10 月 25 日（日）ぶんぱく京都講座「もうひとつの近代京都日本画史　日本南画協会の画家を中心に」
10 月 7 日（水）・11 月 8 日（日）学芸員によるギャラリートーク

担当学芸員による報道機関向け展示説明会のご案内

日　　時：　**令和 8 年 10 月 6 日（火）13：00～**
会　　場：　京都文化博物館　２階総合展示室内
問合せ先：　京都文化博物館 広報調整担当係
〒604－8183 京都市中京区三条高倉 京都文化博物館内
Tel/075-222-0835　Mail/koho2006@bunpaku.or.jp

上記日程以外でも、随時取材を受付しております。ご遠慮なくお問合せください。

～京都府京都文化博物館報道発表資料～